

第20期 Part 2

映画美術

STAFF 塾

2020年11月26日(木)～11月29日(日) 調布市文化会館たづくり

全日程：2,000円 一日：500円

作品上映・講義

お問合せ・資料請求

『陽のあたる坂道』講師：竹内公一

1958年製作 日活、監督：田坂具隆、美術：木村威夫

『幕末太陽伝』講師：酒井 賢

1957年製作 日活、監督：川島雄三 美術：中村公彦 千葉一彦

『金環食』講師：丸山裕司

1975年公開 大映映画 監督：山本薩夫 美術：間野重雄 今井高司

『美術監督ってなんだ?』講師：山下修侍

2020年製作 企画・制作・著作：(協)日本映画・テレビ美術監督協会
監督・編集・構成：井櫻彩

(受付：月～金 13:00～17:30)

(協)日本映画・テレビ美術監督協会

「映画美術スタッフ塾」実行委員会事務局
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-15-14パンチョスタワー2階

TEL&FAX:03-3353-4660

E-mail:info@apdj.or.jp

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため以下に該当する方はご来場をお控え下さい。

- 37.5°以上の熱のある方。
- 咳、喉の痛み、くしゃみ、鼻水などの風邪の症状がある方。
- 過去14日以内に発熱や風邪の症状で受診や服薬などをした方。
- マスクの着用と、設置した消毒液での手指消毒にご協力ください。
- 対人距離を最低1メートル以上は確保してください。
- 大声での会話はお控えください。

☆詳しくは以下のホームページをご覧ください

<http://www.apdj.or.jp>



第20期 映画美術スタッフ塾 Part 2

主催:文化庁 (協)日本映画・テレビ美術監督協会 制作:(協)日本映画・テレビ美術監督協会

<p>11/26(木) 9:00 受付開始 講師 竹内 公一 (美術監督)</p>	<p>提供:日活(株) 『陽のあたる坂道』 2058年4月公開 189分 監督:田坂具隆 脚本:池田一郎 田坂具隆 美術:木村郁夫 出演:石原裕次郎 北原三枝 芦川いづみ</p>	<p>1957年12月より読売新聞に掲載。原作の石坂によれば、本作を書き出した時は全く頭になかったが、執筆中に実在の人物に当てはめたほうが良いと思い、裕次郎の存在を頭に置いたという。石原裕次郎が扮する主人公の田代信次は、田代家の次男として画家を目指していた。その人柄は、粗野で無作法だが、優しい性格の持ち主であった。しかし、芸者の子として生まれ、田代家に引き取られたことで、家族に対しては特別な感情を抱いていた。</p>
<p>11/27(金) 9:00 受付開始 講師 酒井 賢 (美術監督)</p>	<p>提供:日活(株) 『幕末太陽伝』 2057年7月公開 111分 監督:川島雄三 脚本:川島雄三 今村昌平 田中哲一 美術:中村公彦 千葉一彦 出演:フランキー堺 南田洋子 石原裕次郎</p>	<p>日活はこの前年に、「太陽の季節」と「狂った果実」の2作品をヒットさせ、同時に太陽族なる人種までも生み出す新風俗現象を巻き起こしていた。ストーリーはオリジナルだが、落語「居残り佐平治」の主人公を拝借、それに古典落語を継合させたものである。ジャズドラマー出身のフランキー堺扮する佐平治が映画全編の舞台となる旅籠「相模屋」を舞台に庶民の視線と心情を貫き通しており、「日本映画の金字塔」とまで賞賛された川島雄三監督の代表作である。</p>
<p>11/28(土) 9:00 受付開始 講師 丸山 裕司 (美術監督)</p>	<p>提供:(株)KADOKAWA 『金環食』 2075年9月公開 155分 監督:山本薩夫 脚本:田坂啓 美術:間野茂雄 今井高司 出演:仲代達也 宇野重吉 三国廉太郎 京マチ子</p>	<p>石川達三の長編小説で、九頭竜川ダム汚職事件がモデル。保守政党の現総裁にして内閣総理大臣と最大派閥の一騎打ちとなった。両陣営とも票集めに多額の実弾を投入、激烈な選挙は僅差で現総裁の三選で幕を閉じた。数日後、宇野重吉扮する金融業を営む石原参吉の元に、内閣秘書官が秘密裏に資金の用立てに訪れる。この事に石原は直観的に何らかの疑惑を感じとる。</p>
<p>11/29(日) 9:00 受付開始 講師 山下 修侍 (美術監督)</p>	<p>『美術監督ってなんだ?』 監督・構成・編集:井樫彩 企画・制作・著作:(協)日本映画・テレビ美術監督協会 ナレーション:小泉今日子</p>	<p>この作品は、当協会の創立80周年を迎えた記念事業として企画・製作しました。映像メディアの中で、美術監督の創造表現集団としての「職能が見える化」、映画美術の重要性を再認識してもらうことを目的として製作を開始、2020年2月に完成しました。 編集・構成・監督を担当してくれたのは井樫彩さん。22歳のときに「溶ける」という作品で、カンヌ国際映画祭のシネフォンドーション部門にノミネートされ、国内外で注目を集めました。</p>

【参加費】 全日程:2,000円 1日:500円

協同組合 日本映画・テレビ美術監督協会 [A.P.D.J]
 「映画美術スタッフ塾」実行委員会事務局
 〒160-0022東京都新宿区新宿 2-15-14 パンチョスタワー2F

於:調布市文化会館たづくり
 〒182-0026 調布市小島町 2-33-1

●お問い合わせ・資料請求
 (受付:月~金 13:00~17:30)

TEL&FAX: 03-3353-4660
 E-Mail: info@apdj.or.jp

詳しくは以下のホームページを御覧ください。
<http://www.apdj.or.jp>



※参加の申込は、当協会のホームページの申込書式に必要事項を記入の上送信して下さい。
 当日参加に関しましては、協会にお問い合わせ下さい。

